

Contents

特集 県内企業とDX

Top Interview

デジタル分析の汎用性を高め、
対象分野（顧客）拡大へ

株式会社アイスティサイエンス — P1

プラットフォーム構築による
新バリューチェーン

株式会社インテリックス — P3

独自の3Dシステムで
ゼネコンのニーズを取り込む

竹島鉄工建設株式会社 — P4

物流デジタル化で
業務効率化と信頼性の向上

木下水産物株式会社 — P5

IoTによる効率生産から
素材開発企業への脱皮を目指す

ヤツイ株式会社 — P6

Pick Up

わかやま産業振興財団の
令和4年度の主な施策の
募集スケジュールをチェック — P7



写真 / 株式会社アイスティサイエンス
「オンラインSPE-GC/MSシステム」

あなたの会社・お店の10年後を 考えてみませんか

事業承継

を全力で応援！



このようなお悩みを抱えている方は、
ぜひ一度ご相談ください！

後継者が決まっていない・後継者候補がない

事業を引継ぎたいが、手続きがわからない

事業承継の際に経営者保証を解除したい



「資金調達」をはじめ、経営支援・創業支援・事業承継等、全力でサポート!!

広がる夢のおてつだい
和歌山県信用保証協会

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

和歌山県信用保証協会は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています

信用保証協会は、中小企業・小規模事業者の金融円滑化のために設立された公的機関です。

<発行>

公益財団法人
わかやま産業振興財団

〒640-8033 和歌山県和歌山市本町二丁目1番地 フォルテワジマ6階
●JR和歌山駅下車 ③番乗り場 和歌山バス「本町2丁目」下車
●南海電鉄和歌山市駅下車 ①・②番乗り場 和歌山バス「本町2丁目」下車
TEL 073-432-3412 / FAX 073-432-3314
URL <https://yarukiouendan.or.jp> / E-mail info@yarukiouendan.jp
年2回発行 第13号 / 印刷所 白光印刷株式会社



この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。



この印刷物は地球環境に優しい
植物油インキを使用しています。

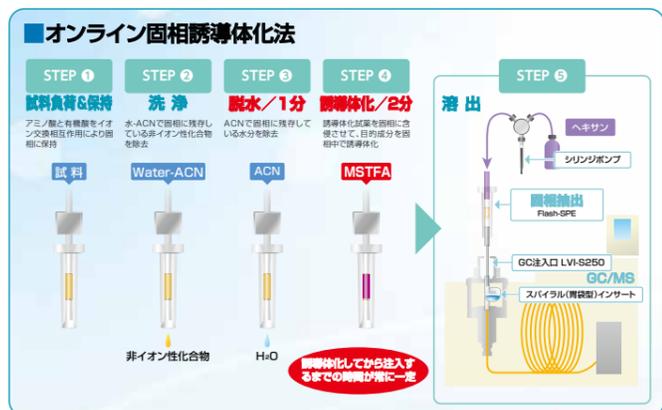


図4. ロボットアームを用いて、固相誘導体化法を自動化することで、安定した精度の良い前処理が可能になった。さらに、GC、MSとオンラインで接続することで、試料をセットすれば、前処理から測定まで自動で行うシステムが完成した。

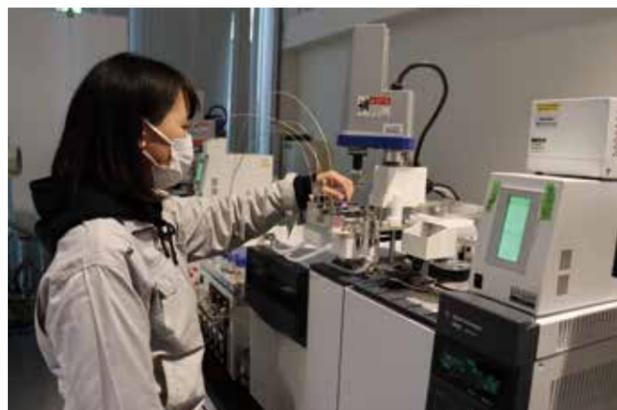


図3.「オンライン SPE-GC/MS システム」に試料をセットすれば、メタボロミクスの前処理から測定まで全自動

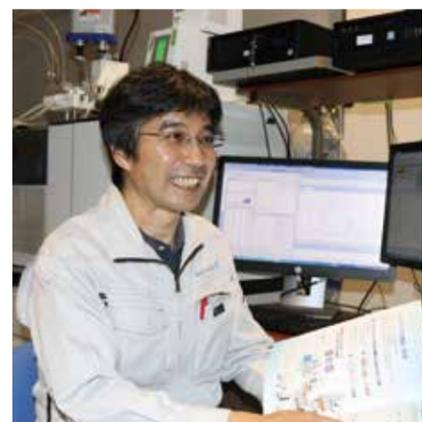


図5.0.1mmまで制御できるロボットアームによって、高精度な再現性を実現

「その「前処理」技術にどのような手法を取り入れたのですか。
佐々野 2014年にわかやま産業界振興財団の「わかやま中小企業元気ファンド」事業（9頁参照）を活用し、前処理から測定までを全自動化した「オンラインSPE・GC/MS（注1）システム」（図3・4）を開発しました。従来手作業で行っていたプロセスにロボットアーム（図5）を取り入れ、また全ての工程をデジタル制御することで、人的ミスや作業のバラツキをなくすことが可能となり、多検体の分析においても安定した精度の良い結果を得られるようになりました。

オンライン化（デジタル制御）で分析の再現性を向上

「相誘導体化法」（図2）で特許登録し、その技術を用いた「自動誘導体化装置」では、前処理時間や個人が持つ技量、ラボ間で生じる分析値の差を最小限に留め、分析の再現性を飛躍的に向上します。時間であれば、それまで約2日間かかっていたメタボロミクスの前処理が約15分で行えるようになりました。



代表取締役 佐々野 僚一氏

「DXについてどうお考えですか。
佐々野 例えば、病気を判断するにあたり外見などの症状に加えて、体内の代謝物の数値化と合わせることでより良い診断につながるかと期待し、またおいしさなどにおいては、人の感覚による評価に頼っていたのが、おいしさの元となっていた成分を数値化させることでおいしさのデータベース化を可能とするように、弊社では分析におけるDXを進めることで社会に貢献できると考えております。

「どんな反響がありましたか。
佐々野 システムを導入された大学や企業の研究所から、分析時間の短縮やコスト削減に成功し、「分析の精度が上がった」「新たな研究に踏み切るキッカケとなった」等と感想をいただきました。また当社にとっては、それまでの残留農薬分析の分野から、医薬・食品業界の分野への進出を果たすことができました。



株式会社アイステイサイエンス
 和歌山市有本 18-3
 TEL 073-475-0033



同社の「前処理」技術は、今後もあらゆる分野の分析の現場を変革していくだろう。

「今後の展望をお聞かせください。
佐々野 分析の「前処理」は、作業の精度、スピード、そのどちらも求められます。ところが、実際はまだまだ手作業で地道にやっているとかが多いのが現状です。当社の製品でそれらの「前処理」を全て自動化し、正確に解析まで行うことで、より多くのお客様に、ひいては化学の発展に貢献してまいります。

「その感想を教えてください。
佐々野 中小企業が研究開発のために投資を行うことは、それ自体が大きなりリスクを伴います。しかし、財団に研究機関や県の補助金を紹介していただいたことにより、思い切った研究を行うことができ、技術を確立できました。その他にも、海外輸出や販路の相談にもご対応いただき、助けられています。

特集 県内企業とDX

-Digital Transformation-

デジタルトランスフォーメーション（以下「DX」という。）とは、直訳すると「デジタル技術による変革」であるが、その解釈や手法は様々で、共通していることはまず目標設定をした上で自社に適した手法を模索し実行することだ。

本号では、DXに取り組む県内企業の事例を紹介する。デジタル技術の導入による技術革新や新サービス開発に成功した事例等、独自の改革を進める4社、いずれも企業のトップを取材し、工夫を凝らしたその手法を探った。

Top Interview

株式会社アイステイサイエンス
 代表取締役社長 佐々野 僚一氏

デジタル分析の汎用性を高め、
 対象分野（顧客）拡大へ

◎ アイステイサイエンスにおける事業変革 【対象分野（顧客）の拡大】

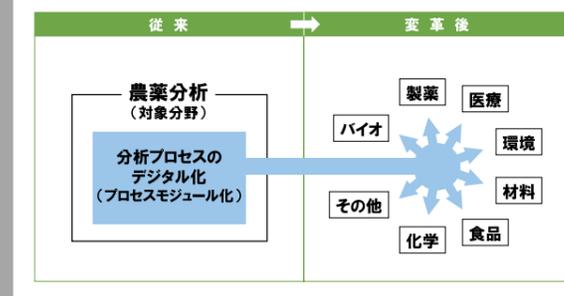


図1. 2021年3月記者会見当時、左からアイステイサイエンス（佐々野氏）、熊本大学（永芳先生・富澤先生）、島津製作所（向氏）

「前処理」技術で分析の現場に貢献
 「まず、今回の共同開発の経緯を教えてください。
佐々野 この共同開発は、生命活動によって生じる代謝物（生物が生命維持のために生体内で生成する化合物）を網羅的に解析する「メタボロミクス」とよばれる研究を行う熊本大学と、分析機器を手掛ける島津製作所、そして、分析の「前処理」を迅速・正確に行うことを可能にする当社が一体となって行ったものです。コロナ患者の血液や尿を解析することで、迅速に重症化を予測し、適切な対処を行うことが可能となります。



図2. これまで試験管で行っていた脱水及び誘導体化を固相（吸着剤）カートリッジで行う新しい誘導体化法を発明した。

「貴社の「前処理」技術とは、どのようなものですか。
佐々野 当社は、創業以来、検査・分析に用いる試料から余分な成分を取り除くための煩雑で難しい「前処理」を効率化、迅速化するための技術を開発してきました。2014年に大阪大学とともに開発した「固

注1 ガスクロマトグラフィー/質量分析法（Gas Chromatography/Mass spectrometry GC/MS）とは、ガスクロマトグラフで分離させた種々の成分を、質量分析計で検出する方法

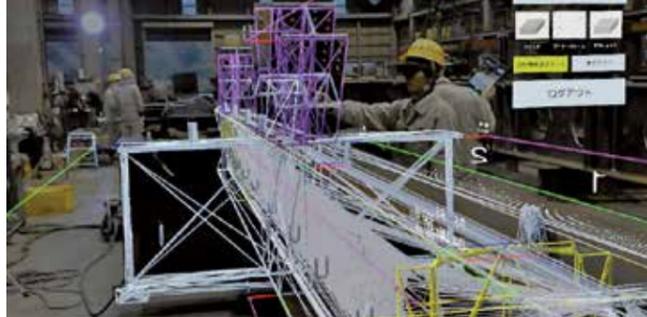


図1. 3D CADで作られた建物のバーチャル映像を元に図面レスで部品の取付位置、情報を確認



図2. タブレットを用いて新人教育を行う様子

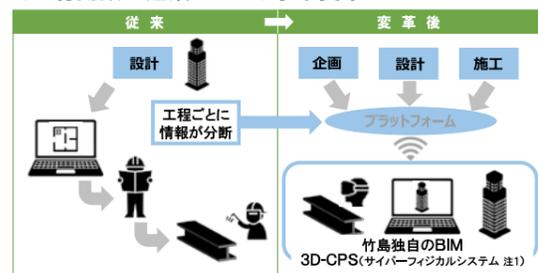
Top Interview

竹島鉄工建設株式会社

代表取締役社長 竹島 徹氏

独自3Dシステムで
ゼネコンのニーズを取り込む

◎ 竹島鉄工建設における事業変革

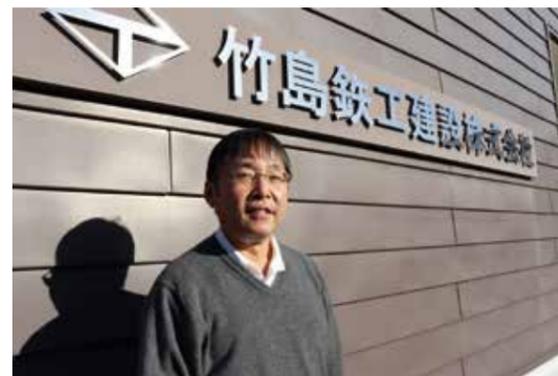


注1. 実世界におけるデータを集積し、仮想世界でデジタル技術などを用いて分析したり、活用しやすしい情報や知識とし、それを実世界にフィードバックすることで付加価値を創造する仕組み

「貴社独自の3Dシステムとはどのようなものですか。」
竹島 モデリングは、従来の建物の外觀だけを表現するものではなく、ひとつひとつの部品単位が詳細な情報を持った鉄骨や他業種取合いパーツで、原寸大の建物をPC上に作り上げるものです。これを用いた3Dシステムのほか、「生産・現場施工管理」までを一つのワークフローとして管理します。全ての製品

「まず、3Dモデリングを始めた経緯を教えてください。」
竹島 近年の大手ゼネコンの建設現場は、BIM（注3）と呼ばれる手法の導入が進み、主流として3D化されたBIMデータからの設計や施工プロセスの検討が始まっています。数年後には3Dが標準となるでしょう。当社はこうした動向を踏まえて、世界基準の精巧な3Dモデルを作ることを決意しました。

世界基準の3Dモデリングへ
「発注元であるゼネコンに鉄骨の柱や梁等、構造物の主要部材を納める竹島鉄工建設。」
同社はいち早く3Dモデリング（3次元の物体をソフトウェアを使って作成するプロセスのこと）に着手し、独自の3Dシステムを立ち上げた。また、同社の製造現場では、その3DモデルとMR技術（注1・注2）を駆使して改革を推し進めているという。



代表取締役 竹島 徹氏

「DXにおいて大切だと思われること

何よりも「人」が大切
「そのアイデアをどうやって実現されたのですか？」
木村 アイデアは私が出しましたが、システム課の社員が中心となり独自のシステムを開発しました。このシステムを最初に採用されたのがヤマダホールディングス様でした。今では全国の大形店舗45店舗（2022年2月時点）に導入され、多くのお客様にご利用いただいております。なお、モニターの店舗導入の実証実験の際には「経営革新補助金」（7頁参照）を活用し、計画の遂行に役立させていただきました。財団には県の補助金や販路開拓でもご支援をいただき、大変感謝しております。



竹島鉄工建設株式会社
有田郡有田川町西丹生園285番地1
TEL 0737-52-5454



注2. Mixed Reality- 現実世界を3次元空間としてデジタル情報化し、その中に架空のオブジェクトを配置して自由に操作できる技術
注3. Building Information Modeling- コンピューター上で3Dの建築モデルを構築するシステム



図1. 店舗に設置されたモニター。来店客は店舗のモニターで簡単に操作可能



図2. 同社の和歌山工場からプロのカーテンアドバイザーがリアルタイムで応対

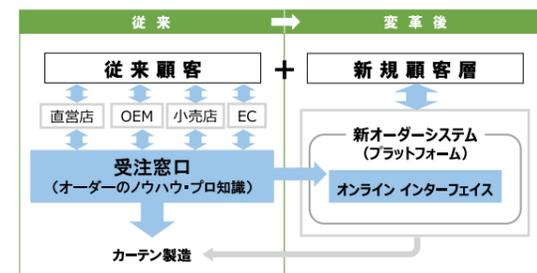
Top Interview

株式会社インテリックス

代表取締役社長 木村 明人氏

プラットフォーム構築による
新バリューチェーン

◎ インテリックスにおける事業変革



「まず、「スマートオーダーシステム」開発の経緯を教えてください。」
木村 これはオーダーカーテン販売のオムニチャネル化の一環です。当社は、お客様がいつでも、どこでも、簡単にオーダーカーテンを購入していただけるように環境を整備しています。店舗と工場を繋いだ理由は、昔と比べて今はオーダーカーテンを販売するお店の業態が変化してきており、専門の知識を持つ販売員が不足していることを危惧したからです。オーダーカーテンを購入するお客様は、サイズや色、柄、風合いがご自宅のインテリアと合うかなど、様々な悩みをお持ちです。お客様が相談したいと思われたときにはすぐに、リアルタイムで当社のプロのカーテンアドバイザーが応じます。（図2）

オーダーカーテンを オムニチャネル化



代表取締役 木村 明人氏

「今後の展望を教えてください。」
木村 当社は、流通コストを下げずに、これまで3万円から5万円円で販売されていたものを1万円円で販売し、高品質な商品を低価格でお客様に提供し続けます。それを続けるためにも、新たなことにどんどん挑戦していきます。今興味を持っていることは「無人カーテン販売（対面販売の無いリアルショッピング）」です。ぜひ挑戦してみたいですね。



株式会社インテリックス
和歌山市里174番地の1
TEL 073-462-7724



注 実際の店舗やオンラインショッピングなどを含む、あらゆる販路を統合すること。販売チャネル

**高品質な商品
低価格で提供**
「一貫通貫の製造販売の強みを活かしたプラットフォーム構築で、新たなバリューチェーンを生みだし、異業種の顧客へのアプローチに成功したインテリックス。」
同社は、創業時より一貫した企業理念の元、DXに挑戦し続けている。



図1. 常温で非常に弾性に富む高分子化合物。ゴム、合成ゴムなど。



図3. タブレットの画面



図2. ストランドを精製、切断する装置にカメラを設置。事務所や作業員の持つタブレットで24時間遠隔監視が可能



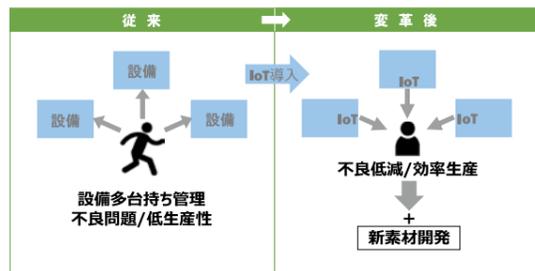
図4. 事務所からも工場内の様子を確認し、素早く放送で呼び出しなど指示を出せるように。

Top Interview

ヤツイ株式会社
代表取締役社長 谷井 栄治氏

IoTによる効率生産から 素材開発企業への脱皮を目指す

◎ ヤツイにおける事業変革



谷井 当社はプレコンシューマ材料を押し出機で溶融混練し精製したストランド(樹脂を原料とした糸のよなもの)(図2)を切断して再生原料として出荷しています。IoTツール導入は、人手不足の解消と生産工程におけるロス削減が狙いでした。具体的には、ストランドの

まず、貴社の事業概要とIoTツールを導入された経緯を教えてください。

IoT導入で狙った 課題を解決

また同社は、新素材開発に取り組むかたわら、IoTツールの導入(先端技術導入補助金(注2)活用)を行った。

プラスチック(再生原料製造・販売、環境事業(産業廃棄物処理)を行うヤツイ。企業のSDGsの取組に注目が高まる昨今、同社は当財団の「未来企業育成事業(注1)を活用、工業技術センターの協力を得て、ポリエチレンを材料とした液体添加剤含有のプラスチック・エラストマー(図1)の研究開発に挑戦。その結果、低沸点のオイルを含有させることに成功し、「抗菌プラスチック」と呼ばれる徐放性や抗菌性を持たせた新素材開発の糸口を掴んだ。製品化を目指している段階にもかかわらず、工業技術センターがHPで成果を発表したことを機に、大手メーカーから再生原料製造への注文が殺到しているという。



代表取締役 谷井 栄治氏

どんな効果がありましたか。

谷井 まずは試しの導入でしたが、ロス率が半減し、月間1トンの増産に成功しました。モニターによる遠隔監視で製品の異常を予知し、迅速に

たわみを一定にするため、作業員が装置を監視し、適宜操作する必要がありますが、別作業を平行して行う場合が多く、異常が発生するまで気付かず不良品を作ってしまうことが課題でした。そのことを財団のコーディネーターに相談したところ、当社の課題解決に適したIoTツール「装置稼働状況を常時監視するための監視カメラとタブレット型のモニター(図3)」と補助金をご紹介します。導入に至りました。なお、新素材開発の際に背中を押してください方もその方で、大変お世話になっております。



ヤツイ株式会社
海南省木津118番地1
TEL 073-485-1077



2003年創業、従業員数7名(2021年12月時点)のまだ若い同社は、今成長の過渡期にある。DXはトップの意思決定と課題の明確化が始めの一步。同社は一歩踏み出すことで下請企業から素材開発企業へと脱皮し始めている。

今後の展望を教えてください。

谷井 まずは新素材開発を成功させ、素材開発企業を目指します。以前は「みんなが失敗しているなら、うちも失敗するかもしれない」と尻込みしていましたが、一歩踏み出したことで変化を実感しています。

下請企業から 素材開発企業へ

対処できるようになったおかげです。また、今回の導入をきっかけに、社員は現場が改善されたことを実感したようで、自発的に新たなIoTツールの導入の提案を行う等、社員の意識改革にも繋がりました。



図1. 多いときには一日数千匹の生まぐろが水揚げされる勝浦漁港



図2. 勝浦市場で仕入れた新鮮な「生まぐろ」を解体している様子



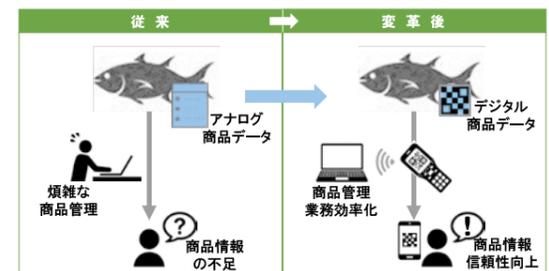
図3. 詳細情報が記載された二次元バーコードがついている出荷予定の「生まぐろ」の箱

Top Interview

木下水産物株式会社
代表取締役社長 木下 勝之氏

物流デジタル化で 業務効率化と信頼性の向上

◎ 木下水産物における事業変革



「紀州勝浦産の天然生まぐろの美味しさを伝えたい！」

まず、「生まぐろ」と冷凍マグロの違いとして、「紀州勝浦産の天然生まぐろ」とはなんですか。

木下 「生まぐろ」とは、漁獲されてから皆さまの食卓に届くまで一度も冷凍されず「生のまま」流通されるマグロの事です。冷凍マグロは、遠洋まで数か月(約)年漁に行き、漁獲された船の中で直ぐに冷凍され冷凍のまま流通されるマグロの事です。そして、「紀州勝浦産天然生まぐろ」とは、日本近海で操業をした「生まぐろ」延縄漁船が勝浦漁港で水揚げをした「生まぐろ」の事です。当社は、地元勝浦漁港に水揚げされたばかりの、新鮮

「生まぐろ」と冷凍マグロの違いとして、「紀州勝浦産の天然生まぐろ」とはなんですか。

木下 「生まぐろ」とは、漁獲されてから皆さまの食卓に届くまで一度も冷凍されず「生のまま」流通されるマグロの事です。冷凍マグロは、遠洋まで数か月(約)年漁に行き、漁獲された船の中で直ぐに冷凍され冷凍のまま流通されるマグロの事です。そして、「紀州勝浦産天然生まぐろ」とは、日本近海で操業をした「生まぐろ」延縄漁船が勝浦漁港で水揚げをした「生まぐろ」の事です。当社は、地元勝浦漁港に水揚げされたばかりの、新鮮

伝統の目利きを継いで、長年顧客と信頼関係を築いてきた木下水産物。持続可能な漁法と言われている延縄漁法(注1)による「生まぐろ」水揚げ量日本一の和歌山県勝浦漁港(図1)で「生まぐろ」専門の仲卸業を行っている(図2)。同社は2016年に、当財団の「わかやま農工商連携ファンド事業」(注3)を参照して、「生まぐろ」の加工品の商品開発を行った。その際に、「トレーサビリティ(水産業では、魚介類の生産地や養殖場から水揚げ、流通加工そして魚屋に至るまでの履歴)を確保できる品質管理のシステム(ここでは漁獲から加工・販売まで)を導入した。それが今、「生まぐろ」の品質向上に重要な役割を果たしているという。



代表取締役 木下 勝之氏

どんな反響がありましたか。

木下 以前は「生まぐろ」の詳細な情報を販売業者であるお客様に伝えることができませんでした。今は、二次元バーコード(図3)の活用によって、迅速な情報提供が可能になりました。お客様からは、「自身のお店で販売する際に、その情報を利用して、食品

なぜトレーサビリティを確保できるシステムを導入したのですか。

木下 当社のような仲卸業者は、日々大量に仕入れた「生まぐろ」の情報を管理しています。たとえば、「漁獲日」「船籍」「水揚げ日」等の詳細な情報です。その膨大な情報を迅速に処理し、それをお客様にも情報提供することで、業務効率を上げながら、より安全・安心に「生まぐろ」を購入していただけるようになりました。



木下水産物株式会社
東牟婁郡那智勝浦町築地8-6-5
TEL 0735-52-0071



近年では、食品の品質向上に加えて、安全意識が高まり、消費者への情報提供の有無が購入の動機に繋がることがも少なくない。同社のように、食品の物流の一部をデジタル化し管理能力を向上すれば、商品に不具合やトラブルが発生した際にも迅速な対策を講じることができ、今後もサービス向上、新たな販路開拓につながるだろう。

今後の展望を教えてください。

木下 当社は、今後も選りすぐった「国産・天然・生」の三拍子そろった美味しい「紀州勝浦産の天然生まぐろ」を、より多くのお客様にお届けし、地域の活性化に貢献してまいります。そのためには、財団の販路開拓や人材活用の事業等を活用し、情報発信力を強化してまいります。

伝統と革新

のPRや販促に活用していると聞いています。情報はエビデンスとなるため、喜ばれています。

注 一本の幹縄にたくさんの枝縄(延縄)をつけて、延縄の先端に釣り針をつけた漁具で行われる漁法

注1 大学・公設試験研究機関等が有する研究成果や技術を県内中小企業が有効活用することにより、新事業の創出、事業化に結びつく共同研究を支援 ※令和3年度終了
注2 IoT・AI等の先端技術を導入し生産性向上や成長分野への参入を目指す事業者に対し、導入費用を支援 ※令和3年度で終了

テクノ支援事業 募集スケジュール

DX 関連支援事業

お問合せ先 テクノ振興部 テクノ振興班
TEL 073-432-5122

- (1) 販促ツール作成支援補助金 <随時募集>
【事業概要】販売促進ツールとしてのウェブサイト等の作成または改良に要する経費を補助します。
【補助率】補助対象経費の2分の1以内 【補助額】50万円以内 【補助予定企業】200社程度
- (2) システムカイゼン促進支援補助金 <募集：1次 4月上旬頃～5月下旬頃、2次 6月下旬頃～8月中旬頃>
【事業概要】業務効率化や経営管理体制の強化を目的としたシステムの導入に要する経費を補助します。
【補助率】補助対象経費の2分の1以内 【補助額】500万円以内 【補助予定企業】50社程度
- (3) ものづくり生産力高度化補助金 <募集：6月頃> ※この事業は和歌山県産業技術政策課が実施します。
【事業概要】デジタル技術等を駆使してビジネスモデルを変革し、生産力を高度化するための「機械設備等」の導入に要する経費を補助します。
【補助率】補助対象経費の3分の1以内 【補助額】2,000万円以内
- (4) DX推進員による相談対応 <随時ご相談ください>
【事業概要】DXの取り組みに関するご相談に対し、助言や適切な支援事業のご提案を行います。

新技術開発関連支援事業

- (1) 専門技術研究会 <募集：4月中旬頃～5月下旬頃>
【事業概要】県内の様々な産業分野における専門技術の動向、専門知識等の普及と参加企業相互の情報交換等を図ることを目的とした、研究グループの運営経費を補助します。
【補助率】補助対象経費の3分の2以内 【補助額】20万円以内
- (2) 成長型中小企業等研究開発支援事業（通称Go-Tech 旧：「サポイン」） <募集：2023/2月中旬頃～4月中旬頃>
【事業概要】中小企業者等が大学・公設試等と連携して行う、ものづくり基盤技術の高度化に繋がる研究開発・事業化に要する経費を補助します。
【補助率】補助対象経費の3分の2以内 【補助額】9,750万円以内（最大3年間補助）
- (3) 外国出願補助金 <募集：5月中旬頃～6月下旬頃>
【事業概要】外国での事業展開を計画する中小企業者を対象に、戦略的な産業財産権を取得するための外国出願に要する経費を補助します。
【補助率】補助対象経費の2分の1以内 【補助額】最大150万円 ※出願内容によって上限額が異なりますので、詳細はお問合せください。

その他の事業

- (1) わかやまテクノ・ビジネスフェア <参加募集締切：11月中旬頃>
【事業概要】基調講演に続き、大学や高専・公設試等の最新の研究成果や技術ノウハウのシーズ発表会を開催し、情報交換の場を提供します。
【開催予定日】2022/11/29 【会場】ホテルアバローム紀の国 【参加費】無料

※各補助金の詳細については当財団ホームページをご参照ください。なお、事業は、令和4年度の予算の成立が前提となります。

Pick Up

わかやま産業振興財団の令和4年度の
主な施策の募集スケジュールをチェック！

産業支援事業 募集スケジュール

人材導入関連支援事業

お問合せ先 経営支援部 産業支援班
TEL 073-432-3227

- (1) 成長企業支援補助金 <募集：4月上旬頃>
【事業概要】人的資源の充実により成長が期待できる県内の中小企業者が、各部門の中核をなす人材を導入するに要する費用（有料職業紹介事業者に支払うマッチング手数料等）の一部を補助します。
【補助率】補助対象経費の3分の2以内 【補助額】100万円以内
- (2) 副業・兼業人材活用補助金 <募集：4月上旬頃開始～随時募集> ※予算がなくなり次第終了
【事業概要】県外のプロフェッショナル人材を副業・兼業等の常勤雇用とは異なる形態で活用する場合に、当該人材が就業場所に移動するために要する費用の一部を補助します。
【補助率】補助対象経費の3分の2以内 【補助額】15万円以内

創業関連支援事業

- (1) わかやま地域課題解決型起業支援補助金 <募集：4月上旬頃>
【事業概要】県内における社会的事業の分野において、地域課題の解決を目的とした起業家及びSociety5.0関連業種等の付加価値の高い産業分野での事業承継又は第二創業者を対象に、起業、事業承継または第二創業に必要な経費の一部を補助します。
【補助率】補助対象経費の2分の1以内 【補助額】200万円以内

企業支援事業 募集スケジュール

国内展示会への集団出展

お問合せ先 経営支援部 企業支援班
TEL 073-432-3235

- (1) 第25回 関西機械要素技術展 <募集予定時期：5月上旬頃>
【会期】2022/10/5～7 【会場】インテックス大阪
【募集企業数】12社程度（機械金属加工） 【出展費用】75,000円（税込）
- (2) 第94回 東京インターナショナル・ギフト・ショー秋 2022 <募集予定時期：4月中旬頃>
【会期】2022/9/7～9 【会場】東京ビッグサイト
【募集企業数】9社程度（ギフト・雑貨等） 【出展費用】標準…150,000円（税込）／コンパクト…75,000円（税込）
- (3) 第4回 京都インターナショナル・ギフト・ショー2023 <募集予定時期：9月中旬頃>
【会期】2023/3/8～9 【会場】京都みやこめっせ
【募集企業数】6社程度（伝統工芸・雑貨等） 【出展費用】75,000円（税込）

商談会の開催

- (1) わかやま産品商談会in和歌山2022 <出展者募集予定時期：5月下旬頃>
【会期】2022/11/24予定 【会場】ホテルアバローム紀の国
【募集企業数】80社程度（県内産品を使った加工食品等） 【出展費用】3,000円（税込）
- (2) わかやま取引商談会 <受注企業募集予定：6月頃>
【会期】2022/8/26予定 【会場】ダイワロイネット和歌山
【募集企業数】発注ニーズに応じて（機械金属加工） 【参加費用】無料

その他の事業

- (1) わかやま企業力向上販売戦略支援事業 <応募〆切：2022/4/15>
【事業概要】3つのコース内容に応じ、企業の販売戦略の策定等を支援
①商品力向上コース（食品・雑貨等対象／負担金100,000円（税込））
②販売力向上コース（全業種対象／負担金無料）
③マッチング支援準備コース（機械金属加工等対象／負担金無料）
- (2) 経営革新補助金 <募集：4月下旬頃>
【事業概要】新商品・新技術・新役務の開発及び販路開拓並びに新たな事業に取り組むための人材養成に関する事業に対し、その経費の一部を補助
【補助率】補助対象経費の2/3以内 【補助額】50万円以上300万円以内

編集後記

数か月前、今号のテーマがDXに決まったとき、DXの有識者にその考え方を教わりました。その時に口酸っぱく言われたことは、DXで大切なことは「デジタル」ではなく、「トランスフォーメーション（変革）」の方だということです。

「DXには長期的な視点が必要。大小様々な取組を行いながら、最終的には顧客に利益をもたらす変革を起こさなければそれはDXとはいえない」と。

一方で「デジタル化（オンライン化等）もDXのひとつ」という考え方も出ました。財団では令和4年度から販売促進ツールとしてのウェブサイト等の作成や改良等、身近なデジタルツールの導入支援の補助金を取扱います。取材を終えた今思うのは、「DXは身近なところから始めてみるのも良いかもしれない」ということです。

今回、小さな変化を起こして得られた成功体験が新たな課題発見に繋がり、やがて大きな変化をもたらすことがあると実感しました。今後も様々な企業が行うDXによって、社会はより便利に変化し続けるでしょう。できれば、その恩恵を享受するだけでなく、供給する側に回りたいと考えるのがこのデジタル化時代を生き抜く企業のプライドであり、使命ではないかと感じています。

支援案内

あなたの挑戦したいことから、わかやま産業振興財団の支援メニューを逆引きで見つけられます。詳細については、各担当者までお問い合わせください。

◆産業振興サポートメールは最新支援情報を無料でお知らせ！
財団、関係機関の実施する各種施策もご紹介
登録は二次元バーコード
または、URLまで <https://yarukiouendan.or.jp/support/>



補 補助金・助成金等による支援 相 相談窓口・専門員訪問等による支援 情 セミナー・情報提供による支援

1 創業したい！

創業支援セミナー 相 情

創業を志す方を対象に、知識を習得する講座や経験者による講演、ビジネスプランコンテストを関係団体と共に行います。セミナー後は個別相談や交流会等も実施します。

担当: インキュベーションマネージャー TEL:073-432-3412

地域課題解決型起業支援事業 補 相

創業に要する経費の一部を補助します。採択者の方には、事業計画や資金・労務・販路開拓等への助言などの伴走支援を実施します。

担当: わかやま地域課題解決型起業支援事業担当
TEL:073-432-3220

2 経営改善したい！

よろず支援拠点 相 情

中小企業・小規模事業者の売上拡大・経営改善等の経営上の様々なお悩みに対応します。多様な専門家が無料で何度でも相談対応いたします。ITを活用した生産性向上・人手不足・事業承継といった国の政策的重点分野のご相談にも是非ご利用ください。

担当: 和歌山県よろず支援拠点 TEL:073-433-3100

企業プロデュース 相

企業の経営診断・経営支援を行います。商工会議所、商工会等が作成した『企業カルテ』を基に専門家集団が解決法について提案します。

担当: 企業支援班 TEL:073-432-3235

専門家派遣事業 相

経営革新に取り組みされる方、新商品開発や新分野進出を目指している方など、意欲ある中小企業者へ登録専門家を派遣します。

担当: 企業支援班 TEL:073-432-3235

3 人材育成・人材導入したい！

プロフェッショナル人材戦略拠点 相 情

新事業の創出、既存事業の拡大、生産性の向上など、企業の『攻めの経営』をリードすることができる、プロフェッショナル人材採用を支援します。

担当: 和歌山県プロフェッショナル人材戦略拠点
TEL:073-433-3110

成長企業支援事業 補

人的資源の充実により成長が期待できる中小企業者に対して、各部門の中核をなす人材を導入するための費用を補助します。

担当: 和歌山県プロフェッショナル人材戦略拠点
TEL:073-433-3110

技術人材育成のための基礎技術講座 相 情

生産現場部門の管理者、リーダーの方を対象に、生産性向上を目指すために必要な生産管理の各種手法について学んでいただく研修を開催します。

担当: テクノ振興班 TEL:073-432-5122

わかやま生産性向上スクール 情

現場の課題を見出し、生産性や品質等の向上の為の手法を体系的に学び、企業利益の礎となる実践的人材を育成します。

担当: テクノ振興班 TEL:073-432-5122
※和歌山ものづくり経営改善スクール後継事業

4 技術開発したい！

成長型中小企業等研究開発支援事業 補

中小企業者等が大学・公設試等と連携して行う、ものづくり基盤技術の高度化につながる研究開発やその事業化に係る費用を補助します。

担当: テクノ振興班 TEL:073-432-5122

外国出願支援事業 補

外国での事業展開を計画する中小企業者を対象に、戦略的な産業財産権の取得に向けた外国出願に係る費用を補助します。

担当: テクノ振興班 TEL:073-432-5122

知的財産戦略事業 相 情

知的財産の活用や特許技術のマッチング、休眠特許の有効利用など、様々な観点から各コーディネーターが支援します。

担当: テクノ振興班 TEL:073-432-5122

5 新たな取組をしたい！

システムカイゼン促進支援補助金 補

県内中小企業者が業務効率化や経営管理体制の強化を目的としたシステム導入に係る費用を補助します。

担当: テクノ振興班 TEL:073-432-5122

販促ツール作成支援補助金 補

県内中小企業者が行う販売促進ツールとしてのウェブサイト等の作成又は改良に係る費用を補助します。

担当: テクノ振興班 TEL:073-432-5122

DX推進員 相

自社の付加価値向上のためDX(デジタルトランスフォーメーション)に取り組む県内企業者に対し、助言や適切な支援事業の提案を行います。

担当: テクノ振興班 TEL:073-432-5122

わかやま中小企業元気ファンド 補

県内の地域資源を活用した新商品開発、新サービスの開発に係る費用を補助します。

担当: 産業支援班 TEL:073-432-3227

わかやま農商工連携ファンド 補

県内の中小企業者と農林漁業者が協力して、新商品や新サービスを開発する際に係る費用を補助します。

担当: 産業支援班 TEL:073-432-3227

専門技術研究会 補

大学・工業高等専門学校・公設試験研究機関の研究員等が主宰する研究会の運営活動経費を補助します。

担当: テクノ振興班 TEL:073-432-5122

テクノ・ビジネスフェア 相 情

大学・工業高等専門学校・公設試験研究機関の研究員等が主催する研究会の運営活動経費を補助します。

担当: テクノ振興班 TEL:073-432-5122

テクノサロン 情

各業界で活躍する講師による講演及び交流会を通じて、県内の産学官のより一層の交流を図ります。

担当: テクノ振興班 TEL:073-432-5122

6 新しい取引先を開拓したい！

下請取引あっせん 相 情

取引推進専門員が中小企業を訪問し、受注機会の拡大を支援します。また、大手メーカーを招いた商談会等を開催し、新たな受注機会を提供します。

担当: 企業支援班 TEL:073-432-3235

展示会出展支援 補

国内・海外の展示会への出展に係る費用を補助します。また、集団出展形式でいくつかの国内外展示会への出展を支援します。

担当: 企業支援班 TEL:073-432-3235

海外市場開拓支援 補

海外進出に関心がある方を対象に、市場調査の実施、貿易や投資などに係る国際間取引の相談を行います。

担当: 和歌山国際経済サポートデスク TEL:073-433-2837

わかやま産品商談会 in 和歌山 情

優れた和歌山県産品を有する県内企業と県内外購買企業との商談の場を提供し、販路開拓を支援します。

担当: 企業支援班 TEL:073-432-3235

わかやま企業力向上販売戦略支援事業 相 情

自社製品を有する県内企業に対して、専門家指導のもと、市場調査の実施や販売戦略のブラッシュアップを行い、企画から販売までの一貫した伴走支援を行う。

担当: 企業支援班 TEL:073-432-3235

7 下請の相談をしたい！

下請かけこみ寺 相

中小企業者が抱える取引上のトラブルでお困りの方に、問題解決に向けたアドバイスを行います。

担当: 和歌山県下請かけこみ寺 TEL:0120-418-618

広告

その小さな部品、 圧造で作いませんか？

Kongo Dies Industrial Co., Ltd.
to be the Number One Partner All of Our Clients

金剛ダイス工業株式会社

〒640-1141 和歌山県海草郡紀美野町小畑144-3
TEL.073-489-2047 FAX.073-489-4338
URL▶<https://www.kongodies.com>

Advance to the Future

プリント配線板製造 40周年

電子部品にも『浪漫』を

1981年、スペースシャトル・コロンビアが宇宙に到達した年
私達はプリント配線板の製造を開始しました
月日を重ね、小型人工衛星にもご採用頂きました
これからも私達は『無限の探求』を続けます

太平洋工業株式会社

■和歌山 □東京 □大阪 □大分
□バンコク □台北 □上海 □深圳 □珠海

日高川工場

和歌山工場

日高川町の豊かな自然環境の中で、ケーキ用チョコレートオーナメントやボンボンショコラ、焼菓子を作っています。

株式会社 たにぐち

和歌山工場：和歌山県日高郡日高川町和佐 1030 TEL. 0738 (53) 0866
日高川工場：和歌山県日高郡日高川町和佐 1030-1
<https://www.taniguchi-net.com>

ものづくり・人づくりは 信頼・信用が大切だと考えます。

赤井製作所

ものづくり・人づくりは信頼・信用が大切だと考えます。

株式会社 赤井製作所

〒649-6202 和歌山県岩出市根来 2027-2
tel.(0736)62-9291 代表 fax.(0736)62-7152



賛助会員一覧

- | | | |
|------------------------|----------------------|---------------------|
| 1 株式会社アイスティサイエンス | 25 株式会社サイバーリンクス | 49 中野BC株式会社 |
| 2 アイレス電子工業株式会社 | 26 株式会社サンアクティス | 50 株式会社名手酒造店 |
| 3 青野パイル株式会社 | 27 株式会社山東鐵工所 | 51 南海化学株式会社 |
| 4 アクロナイネン株式会社 | 28 株式会社システムキューブ | 52 西岡総合印刷株式会社 |
| 5 株式会社東農園 | 29 株式会社島精機製作所 | 53 日進化学株式会社 |
| 6 株式会社石橋 | 30 株式会社シマファインプレス | 54 株式会社日本化学工業所 |
| 7 株式会社稲葉 | 31 新中村化学工業株式会社 | 55 阪和電子工業株式会社 |
| 8 一般財団法人
大阪科学技術センター | 32 スガイ化学工業株式会社 | 56 ヒカリ技研株式会社 |
| 9 株式会社尾高工作所 | 33 杉本特許事務所
和歌山事務所 | 57 富士化学工業株式会社 |
| 10 花王株式会社和歌山工場 | 34 セイカ株式会社 | 58 伏虎金属工業株式会社 |
| 11 笠野興産株式会社 | 35 セイコーメディカル株式会社 | 59 株式会社ふみこ農園 |
| 12 有限会社紀州化成工場 | 36 株式会社タイボー | 60 北広ケミカル株式会社 |
| 13 紀州技研工業株式会社 | 37 大伸化学工業株式会社 | 61 本州化学工業株式会社 |
| 14 株式会社紀州ほそ川 | 38 協業組合太成 | 62 株式会社丸惣 |
| 15 紀南農業協同組合 | 39 太平洋工業株式会社 | 63 三木理研工業株式会社 |
| 16 株式会社共栄テクシード | 40 竹島鉄工建設株式会社 | 64 株式会社メイワ |
| 17 有限会社申本儀平 | 41 太陽シールパック株式会社 | 65 株式会社明和製作所 |
| 18 紀和化学工業株式会社 | 42 大洋鑄造株式会社 | 66 森下機械株式会社 |
| 19 株式会社紀和実験動物研究所 | 43 大和化成工業株式会社 | 67 和歌山県織物工業協同組合 |
| 20 株式会社寿精密 | 44 株式会社タニノプラント産業 | 68 和歌山染工株式会社 |
| 21 小西化学工業株式会社 | 45 田端酒造株式会社 | 69 和歌山ノーキョー食品工業株式会社 |
| 22 株式会社小松原 | 46 築野食品工業株式会社 | 70 ワコー株式会社 |
| 23 小松屋株式会社 | 47 東洋ライス株式会社 | 71 株式会社ワメンテクノ |
| 24 剤盛堂薬品株式会社 | 48 中田食品株式会社 | |
- 令和4年1月末現在
合計71社（五十音順）

わかやま産業振興財団では、賛助会員を募集しています。「地域の産業技術の振興を図ること」にご賛同していただける事業者様、是非ご入会をお待ちしております。

◇賛助会員には、次の特典があります◇

- | | |
|--------------------------|-----------------|
| ①各種事業の案内（財団、県、その他団体等の事業） | ③テクノサロンへの参加資格 |
| ②各種技術研修等参加費の減額 | ④広報誌への広告掲載50%割引 |



公益財団法人
わかやま産業振興財団

〒640-8033
和歌山市本町二丁目1番地 フォルテワジマ6階

<担当> テクノ振興部 Tel:073-432-5122 Fax:073-432-3314

広告



時代は変わる、



想いは変わらない。

どんなに世の中が変わっても。
お困りごとがないか
気をくばり、人を見つめ、
悩んでいる人がいれば、
いっしょになって考える。
地域のみなさま
お一人おひとりに寄り添い、
どこまでも向き合う
銀行でありたい。
創業以来、変わらない
私たちの想いです。



広告



中小企業の、
いまを支える。
先をえがく。

社会が変わるそのとき、1社1社のすぐそばで。



和歌山支店 TEL:073(432)1281 〒640-8152 和歌山市十番丁2-1

<https://www.shokochukin.co.jp/>